

事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・グループホーム「風楽里」

運営推進会議 開催報告書

開催日時	令和5年4月20日	風楽里アルコープにて
当日あつまって頂いた委員の皆様		議 題
利用者	2人	1 活動状況報告
利用者家族（風楽里）	1人	スライドショー
〃（笑楽日）	1人	2 身体的拘束適正化検討委員会
知見者	0人	
市職員	1人	
地域包括支援センター	1人	
地域住民の代表者	1人	
事務局	2人	
見学の事業所職員	2人	

1 2月～4月の活動状況をご報告させて頂きました。

施設内での季節の行事や、誕生日会、食事レクなど企画し、楽しんでおります。

花見外出や、散歩、瀬戸蔵へも出かけました。

スライドショーで利用者様の様子を見ていただきました。

2 身体拘束適正化委員会

通いと宿泊を、組み合わせて利用されている方の帰宅願望に対して、どのように対応したらよいか、スタッフ間で、話し合いました。

ご本人が納得して、気分よく宿泊していただけるような“こつ”を共通の認識として共有し、安心できる雰囲気作りの為、たそがれ時には、マンツーマンで対応しております。

ご質問・・・身体拘束というと、手足を拘束したりすることだと思っていました。

お答え・・・当施設は、玄関はオートロックではなく、内から開錠できます。その為、扉に鈴を付けたり、床センサーを扉の前に置き、鳴ると確認できるようにしています。

外に出さないようにすることは、自由を奪うことになる為、拘束していることになる。

という観点から、職員の身体拘束委員会で話し合いました。

全体を通してのご質問・・・介護ロボットは導入していますか。

お答え・・・直接利用者様を、介護するようなロボットは導入しておりません。

入居者様の眠りの“質”を確認するための、“眠りセンサー”をICT

で使ったことがあります。ご本人を理解することや、ご家族にも納得して頂く

良い手助けになりました。

以上 令和5年度 第1回 運営推進会議の報告とさせていただきます。

報告者 伊丹

